



錦町議会だより

おはよう



2016. NO
118

● 定例会・臨時会	2
● 決算審査特別委員会	2～3
● 議会トピックス	4
● 3人が一般質問	5～7
● 議会へ一言・議会のうごき	8
● 軌跡	8



新しい杉門を背に

（一市民運動会）

庁舎非常用電源設備費予算を可決

平成28年第3回定例会は、9月6日から15日までの10日間の日程で行われ、平成27年度各会計決算認定6件、平成28年度各会計補正予算5件、契約1件、報告1件が上程され、いずれも原案のとおり可決した。

なお、今回の一般質問には3人が登壇し、執行部の考えを質した。

報 告

①平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

第3回臨時会

平成28年7月19日に行われ、木上小学校大規模改造（老朽）工事請負契約について上程され、原案のとおり可決した。契約の相手方は、マルナカ工業有限会社で契約金額は9,612万円。
また、報告1件が行われた。

平成27年度各会計の決算を認定 決算審査特別委員会

9月7日、8日、9日、12日及び14日の5日間にわたって執行部に詳細な説明を求め、予算の執行が適正で効率的に行われたか、また住民福祉の向上等にどのような成果を上げたかを主眼に慎重な審査を行い、その結果認定すべきものと決定した。なお、決算審査報告書の内容については次のとおり。

○総務課

行財政改革大綱において目標である財政調整基金13億円以上、また健全化判断比率においても将来負担比率100%以下のことには評価できる。今後は地方債の繰上償還など、適正な財政運営に努められたい。

職員の健康管理や職場環境の改善については、定期的に衛生委員会を開催し情報交換の場を設けるとともに、産業医による講演会、ストレッチエクササイズが実施されている。職員の労務管理、職員定数の適正管理に努め、特定の職員に過度な負担が生じないよう配慮されたい。

路線バス及び乗合いタクシーに対する県からの生活交通維持・活性化総合交付金は補助率が約10分の1であることから、地域公共交通の維持・向上のため財政支援措置

の拡充を国・県へ働きかける等努力されたい。また、乗合タクシーの路線・運用方法などを検討し、利便性の向上に努められたい。

消防団の再編については、地域の実情を勘案し、引き続き消防団幹部との協議を行い推進されたい。

○企画観光課

ふるさと納税額については、今年度（平成27年度）からお礼の品として桃を追加したことにより、平成26年度35,040,410円であったが、平成27年度は71,478,980円と約2倍に増額した。同じ方から複数回の納税も見られることから、これから更にリピーターの確保に努められたい。また、ふるさと納税は貴重な財源であり、町を全国へアピールする事にも

なることからプロモーションを含めた方策の検討を願う。

このほか、人吉海軍航空隊基地跡は、錦町だけでなく、人吉球磨の貴重な歴史的価値のある施設であり、新しいジャンルの観光資源として、将来を見据え有効的な事業推進に努められたい。

○住民福祉課

結婚相談事業において、取り組み5年目、徐々に効果が挙がってきている。引き続き取り組みを望む。

27年度から始まった新保育システムにより保育所運営費補助金が、大幅に増加したと同時に、担当者の業務が増えている。体制の整備化を検討されたい。

不燃ごみ、可燃ゴミ共に処理費負担費が増加している。ゴミ分別細分化など新しい取り組みを導入し、町民に再度、周知の徹底を図るべきである。

○健康保険課

国民健康保険特別会計においての財政調整基金残高が10,170,000円。これはもはや枯渇状態に等しい。今後の運営対応を真摯に検討すべきである。

住民の健康意識高揚・保持増進

を図る為には、健康づくり三団体（錦町食生活改善・錦町運動普及・錦町健康各推進協議会）の連携活用が必要ではないか。強力に展開すべきである。

○税務課

税の公平性を保つため、様々な調査並びに納税交渉、滞納処分を積極的にを行い、前年に引き続き収納率が上昇していることは評価できる。

不納欠損処理については、税負担の公平性と歳入確保の観点から引き続き慎重かつ厳正に取り扱われたい。

今後も貴重な自主財源確保のため、新たな課税客体を把握し、町税の公正・公平な賦課徴収を行い、収納率向上のためコンビニ収納・口座振替の推進にも努められたい。

○出納室

基金運用については、確実有利な公金の管理・運用を行っており、特に国債購入に関しては、高額な利益を得ており、町の貴重な財源となった。今後更に情報収集に努められ、有利な基金管理を進められたい。

○教育振興課

県との連絡ミスによる指導用タブレット購入に係る県補助金

3,000,000円が、歳入に欠陥が生じたという報告があった。慎重な事務処理等すべきであった。今後においてチェック体制の強化を図るべきである。

「読書量、日本一」という目的を掲げているにも関わらず、前年比より入館者数、貸出数が減少している。引き続き蔵書の質の改善等検討すべきではないか。

活き活き大学において、新しい軽スポーツの導入を検討しているのではないか。健康意識高揚にも結び付く。

○地域整備課

道路改良事業については、年度後期発注が多く年々繰越事業が多くなっている。要因としては、用地取得等問題はあるものの、発注時期についても問題があると思われるので、町単独事業については年度前期に発注するなど工事全般の工程を検討されるよう強く望む。

錦大橋架設事業については、着実に工事が進行しているが、早期完成のためにも、関係機関との連絡調整を密にし、さらに事業促進を図られたい。

白坂団地については、長寿命化計画に基づき外壁塗装工事が進め

られており、地理的要因等も考えられるので、今後も広報に努め空き部屋の解消に努められたい。

簡易水道については、資産調査も終了し、平成29年度から企業会計に移行することとなるが、スムーズな移行のためにも、未加入世帯の加入促進に引き続き努力されたい。

○農林振興課

産業振興基金において、利用者も増えたが、滞納者・滞納額も増加している。焦げ付き等がないように早めに処理されたい。

鳥獣対策においては、人吉球磨の連携強化を強く望む。例えば、捕獲報酬見直しや統一が必要である。

○まとめ

全体として予算執行にあたっては、ほぼ良好と認める。今後においても更に健全な予算執行を望む。最後に、今回の決算審査において各委員からの提言等については、後年度の予算編成や行政執行に活かされるよう要望する。また、効率的な行財政の運営にお一層努められたい。

農業委員会と意見交換

8月19日「錦町の農業の現状と課題について」と題し錦町農業委員会と議員との意見交換を行った。

①青年就農交付金について、②有害鳥獣対策について、③耕作放棄地について。

(意見交換内容)

○国の施策であるが該当しない後継者に対し町から何らかの助成はできないか。

○鳥獣防止ネットでの対応に限界がある為ワイヤーメッシュ柵の検討

○広域で取り組むための協議会設立の必要性

○管理が困難な農地の問題点等の検討

今回の意見交換で、町の主要産業である農業の現状及び問題点が確認出来た。今後、議会においても執行部に対し早急な対応を求めている。



議会トピックス

町内障がい者就労支援事業所視察

〈厚生文教経済常任委員会〉

厚生文教経済常任委員会は、

8月25日(木)、町内4ヶ所の事業所を視察した。就労支援事業所形態には、障がい者の労働対応力に準じた支援事業所が主に5つあり、町内には、

①就労支援センター・せせらぎ錦事業所(就労継続支援A型) ②障害者多機能型就労支援・風月(就労移行支援・就労継続支援B型) ③就労支援センター・オーガニックステーションYOU(就労移行支援・就労継続支援A型) ④アート工房・クレヨンの森(就労継続支援B型)の4ヶ所がある。

各事業所から施設の理念等をお聞きし、又、働いておられる障がい者の方々の様子を見聞して、改めて、労働を通して社会との繋がりの重要性を学びとることが出来た。と同時に障がい者の就労の大切さを知ることが出来た貴重な研修であった。



一般質問

町政のことが聞きたい

3人が登壇
(要約掲載)

戦争遺構全体開設は

30年度予定



金山 民幸 議員

金山 人吉海軍航空隊遺構の全体開設年度と資料展示及び平和学習時に活用出来る館の設置計画はあるのか。

町長 遺構や新立周辺道路及び資料館整備を約一億円でを行い、30年度に開設を予定している。

企画観光課 一部作戦室跡等は土地所有関係や安全対策を施し早期の公開を考えている。



整備予定の地下壕

金山 保護対象となる地下壕及び地上遺構敷地は町有地として買収する予定か。又、管理する地下壕

等は賠償保険に加入予定か。

企画観光課 買収計画をしている。又、保険加入も考えている。

金山 案内看板設置やホームページ開設に伴い見学者の増加が予想されるが、事前に地下壕の安全対策と説明者確保等の受け入れ体制の整備が必要ではないか。

町長 安全対策を第一に行い順次公開するが、確保できない地下壕は所有者の同意を得て柵設置を考えている。

企画観光課 説明者の確保については現体制で対応するが、今後の見学者の動向により検討する。

金山 遺構保護活用財源確保のために、ふるさと納税制度へ追加して寄付金を募ってはどうか。

企画観光課 9月から実施している。

金山 遺構保護活用については多額の経費を要するので、小規模の範囲で進めるべきであると思うが。

企画観光課 地域住民や有識者の意見を伺い進めていくが、地下作戦室跡等がある由留木地区を中心にある程度絞って整備する計画である。

学習支援等子ども支援施策を

金山 原発事故に係る福島県内の小学生を対象とした 캠프スクール事業実績と今後も継続する考えか。

教育振興課 24年3月から延べ88人が来町している。又、今年には熊本地震の関係で実施しないが、継続する考えである。

金山 以前実施されていた町内一人親家庭の子どもを対象とした 캠프等の事業を、再度検討して実施してはどうか。

教育振興課 参加者等の事情で実施していない。実施については今のところ考えていない。

金山 他市町村では夏及び冬休みに子ども学習支援事業を実施して学力向上に努めているが、本町でも出来ないか。

教育振興課 町内小中学校でも学習支援事業は行っている。

町長 ICT整備等により本町の学力は向上している。今後も教育環境の整備に力を入れていく考えである。

人材育成・子育て支援 「給付型奨学金」の導入は



藤川 喜一 議員

藤川 保護者の賃金収入の減と学費等の値上げにより、今や大学生の二人に一人が何らかの奨学金を利用していると言われていた。さらに、不安定雇用や低賃金労働の拡大により卒業しても返済に苦しみ、返したくても返せない人が増加している。「貧困の連鎖」として社会問題化している。錦町の「奨学金制度」の概要と現状（利用者数・貸付金額など）を伺いたい。

教育振興課 町の奨学金制度は昭和59年度から実施。錦町に3年以上在住するものの子弟で一定の条

件を満たした者に対し、高校で月2万円、大学で月4万円を限度に貸与している。平成27年度利用者は10名で年間貸与金額は514万円となっている。

藤川 10名は少ない気がしている。奨学金制度の周知はどのようにしているか。

教育振興課 高校に進学する場合に三者面談等の時にチラシを配布して制度を知らせている。3月頃あいねっと放送と町の広報誌で周知している。

藤川 認定の基準が厳しいのではないか。利用しやすいように、基準を緩和（現在は高校3年間の成績が平均3.5以上）するなどして希望者には全員貸与できるようにすべきではないか。

「給付型奨学金」を国も検討を始めている。議会も6月議会で導入を求める意見書を採択している。

「給付型奨学金」の導入を前向きに検討してもらいたい。

教育長 国の動向やどのような給付型にするか、借りやすい制度にするために検討していきたい。

木上小学校プール 移転改修を

藤川 木上小学校のプールは学校敷地外にあり、授業中の往復に時間がかかる上、事故など有事の際目が届かないなどの問題点が指摘されている。以前より移転の要望が強いが検討の経緯と認識は。また現在のプールの更衣室も老朽化しており一刻も早く学校敷地内に移転すべきである。教育長、町長の見解を求める。

教育長 平成30年度の振興計画に基づき移転できるように進めていきたい。

町長 移転改修が遅れた原因は町の財政が厳しく

延び延びになったと思われる。しっかり財源を確保して平成30年度に建設できるよう努力する。

藤川 児童・保護者の長年の念願であった。是非実現に向けて努力いただきたい。



H 30年度移転改修予定 木上小プール

いかにして

「住み続けたい町」にするか



荒川 孝一 議員

住民福祉課 新規賃貸住宅分だけのゴミの搬出量データはなく、処理費用の増額分を算出できないが、町収集分の可燃ゴミの量は増加しており町外からの転入者へ対してはゴミ出しルール読本を配り、ゴミの減量化を求めている。

地域整備課 下水処理の維持費管理については、流入水量により算定し負担金を算定している。年々接続率も若干であるが増えているので、当然維持管理費の負担は増えている。

「遠くの親戚より 近くの隣人」事業を

荒川 地域集落での納付金等などのトラブル発生の相談はないか。

総務課 区費や部落費を

納めない、加入されない方がおられ困っている地域があるということは承知している。行政からの指導的なものを期待されるの相談を聞いたこともあるが、あくまでも自治会組織内のことであるため、行政からの指導は出さない。

荒川 住民間トラブルを見逃ごせず対応していくべきではないか。人口ビジョンの転入者アンケートで65%の人が「錦町に

住み続けたい」と回答している。遠くの親戚より近くの隣人という発想で、その方々に定住促進の空家情報を提供し、定住促進助成金などの事業を実施してみても。

町長 本町だけではなく、住民間トラブルはこの町村でもある。私は賃貸住宅が増えることは、町のにぎわいという点では効果が大きいと思っている。その中で議員指摘の定住を促すやり方を当然していかなければならないと思っている。

荒川 イターン、Uターン希望者への情報発信も大切だが、より確実な定住者増の観点からすると賃貸住宅世帯に「いかに錦町に住み続けてもらえるか」の対応をしていくべきだ。

※他に今回一般質問では、
・球磨中央高校（現球磨商業高校）と本町がいかに連携していくべきかを質疑提言しました。

荒川 本町がまとめた総合戦略、人口ビジョンを通読して違和感があった。それは町の人口の割合に対して賃貸住宅人口が多いのではないか。調査してみると、賃貸住宅世帯数が総世帯数の約18%、総人口の約19%を占めている。どう捉えているか。

町長 日本中、特に地方の人口が減少していく中で、本町は県下でも人口の減少率は低く、住み易い住環境である証明だと思っている。

荒川 新規賃貸住宅増に伴い、ゴミ処理費用、下水道維持管理費等の町の負担は増加していないか。



若者が住みたい町へ

議会のうごき

7月

4日	・全員協議会	20日	・全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会（～22日）
8日	・広報特別委員会		
13日	・例月出納検査（～14日）		・決算審査（～29日）
14日	・定例郡議長会	22日	・広報特別委員会
15日	・広報特別委員会	23日	・国会議員団、県議団、市町村長、市町村議会議長合同懇談会
19日	・平成28年第4回臨時会	26日	・合同期成会総会
	・人吉下球磨消防組合議会議員視察研修（～21日）	27日	・熊本県町村監査委員臨時総会及び研修会

8月

1日	・町村議会正副議長研修会	24日	・備品監査
2日	・全員協議会	25日	・球磨郡町村監査委員研修会
10日	・下球磨町村議会議長連絡協議会定期総会	26日	・人吉球磨広域行政組合議会定例会
17日	・定例郡議長会		・にしき夏祭り
	・例月出納検査（～18日）	28日	・分館対抗バレーボール大会
19日	・農業委員会との意見交換会	29日	・期成会総会
23日	・常任委員長、議会運営委員長研修会	30日	・議会運営委員会

9月

1日	・全員協議会	17日	・一武保育園運動会
2日	・定例郡議長会	21日	・秋の全国交通安全運動出発式
6日	・平成28年第3回定例会（～15日）	23日	・下球磨町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
13日	・球磨畜産共進会	25日	・一武小、木上小運動会
14日	・金婚夫婦表彰式	26日	・例月出納検査（～27日）

議会へ一言



今田 良久さん
(錦町区長会長)

現在、中央等に於いて本当におかしい事ばかりで驚かされる。テレビ番組等で四六時中、豊洲市場、オリンピックの競技会場問題、政務活動費の問題など、連日報道されている。真実は一つしかないと思うのだが、なかなか本当の事が出てこない。もっとガラス張りの自治体運営をしてもらいたい。ひるがえって錦町の実態を考えると、議会だよりを通して議会の有り様を知らせてもらっている。議員の方々には本当に錦町・町民又、その将来を見据えての議会の役割を務めておられ、町民主権を基本として、町当局と一丸となり活動されている姿勢が伺える。今後も町民に寄り添い、安心して生活出来る町づくりに努めていただく事を願います。

軌跡

秋の風物詩と言えば、以前は運動会という行事が一番に浮かんできますが、近年は様変わりして5月に実施される所も随分多くなって来ました。

ですが、今年も秋に保育園や小学校そして、高校において実施され何処も天候に恵まれ盛会だったようです。主催者側は、内容よりも一番気になるのは当日の天候で、怪しい雲行きですと決行するか延期するか決断を迫られ頭痛の種です。私も役場職員時一度だけ経験があります。何故なら、保護者側からすれば、現在は共働きの世帯が多く、雨で延期でもなれば休暇が取れないとか、お昼の弁当の準備も関連してきます。ましてや我が子どもの心身の成長を垣間見る唯一の機会ですので晴天を願うのは当然です。それに、以前と違うのは、プログラムに保護者向けの種目や親子一緒に種目を取り込むなど工夫されており周囲を和ませる光景です。これは、親子のふれあいの希薄化解消の一端でしょうか。運動会は、保育園や学校行事として行われていますので、これを否定するものではありませんが、地域によっては、地域住民と学校が連携して地域づくりの一環で取り組んでいる所もあるようですので参考までに!!

(文責 右田 宣之)

「広報特別委員会」

委員長 金山 民幸
副委員長 藤川 喜一

委員 荒川 孝一

議長 市田 昇
市田 宣之
柳瀬みどり